

図書館だより



まだ朝晩は冷えるものの、春の気配を感じるようになってきました。3月8日は「国際女性デー」。イタリアではこの日に女性にミモザの花を贈る習慣があり「ミモザの日」とも呼ばれるそうです。今月は「花」にまつわる本を紹介します。

参考:植物生活, 3月8日はミモザの日!,
<https://shokubutsuseikatsu.jp/article/news/p/2808/>(参照 2024.2.13)

『面白すぎて時間を忘れる雑草のふしぎ』



稻垣栄洋/著 三笠書房 470円

人間が作った環境の中で生えてくる雑草には「予測不能な変化」が起きるのですが、それこそが雑草にはチャンスなのだそうです。過酷な環境で、どんな植物でも耐えられるわけではない中で、強く生きる雑草たち。たくましさのなぞを「みちくさ研究家」を名乗る稻垣先生が、この本で教えてくれています。

『新装版 誕生花と幸せの花言葉366日』

徳島康之/監修 主婦の友社 627円

一年366日の誕生花と花言葉が写真とともに載っています。あなたの誕生花は何でしょう？ご家族の誕生花を覚えておいて、プレゼントの時に思い出せたらいいですね！



こちらもおすすめ

『東京 桜100花』

松本路子/著 淡交社

627円

#東京で咲く桜 #野生
#桜の品種

『たんぽぽ』

荒井真紀/文・絵 高橋秀男/監修
金の星社 E479円

#綿毛のひみつ
#冬から観察

『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン/作 ジャクリース・デュエーム/絵 安東次男/訳 岩波書店 753円

#緑を育てる #平和

世田谷文学館

世田谷文学館は1995年にオープンした東京23区初の地域総合文学館です。区ゆかりの作家に関するコレクションや企画展示のほか、美術や音楽など他のジャンルと文学の交流企画も行っている、文学を「体験」できる施設です。現在開催中の展覧会は「衣裳は語る—映画衣裳デザイナー・柳生悦子の仕事」です。校内にもポスターなどがあると思いますので、ぜひ探してみてください。

参考:世田谷文学館ホームページ, <https://www.setabun.or.jp/> (参照 2024.2.13)

『あの名作の舞台 文学に描かれた東京世田谷百年物語』

世田谷文学館/著 桁出版社 910.26円

映画やテレビドラマ、小説などの舞台となった土地を訪れるなどを、最近は「聖地巡り」などといいますが、世田谷も多く映画や文学作品の「聖地」となってきました。そんな世田谷を舞台とした作品や、舞台となった場所の写真を、作家のプロフィールとともに世田谷文学館がまとめた一冊。みなさんの身近にも「聖地」があるかも知れません。

春休み特別貸出のお知らせ

貸出対象: 1・2年生

期間: 3月11日(月)

~3月22日(金)まで

冊数: ひとり5冊まで

返却日: 4月12日(金)

※春休みは読書の時間を作るチャンス！

さまざまなジャンルの本を読んで、たくさん発見をしてください。

3月の 開館日	月	火	水	木	金	土	日
昼休み					1	2	3
放課後					○	-	-
	4	5	6	7	8	9	10
昼休み	○	○	○	○	○	-	-
放課後	×	○	×	○	○	○	-
	11	12	13	14	15	16	17
昼休み	○	○	-	○	-	-	-
放課後	○	○	×	○	○	-	-
	18	19	20	21	22	23	24
昼休み	-	×	-	-	-	-	-
放課後	○	×	-	○	○	-	-
	25	26	27	28	29	30	31
昼休み	×	-	-	-	-	-	-
放課後	×	-	-	-	-	-	-